

行財政改革審議会 分科会B
「自主財源増強」
検討テーマと基本コンセプト

平成24年7月24日提出
掛川市行革審・分科会B

現状の課題

- 観光、商工業の活性化、まちづくり施策において、連携を図り掛川市を統一するようなブランドがない。
- 社会体育施設など、運営コストと利用料収入の収支バランスが悪い施設が多い。
- 市有財産の利活用状況が行政目線のありきたりな内容であり、検討の余地があるのではないか。

I 検討テーマの設定について

歳入増強に対する職員の意識改革の必要性、市からの歳入等に関する資料説明や、委員のみなさんとの意見交換を踏まえて、第2期行革審・分科会Bとしての検討テーマを以下のように設定して議論していきたい。

<検討テーマ>

1. 「掛川ブランド」の創出と地域プロモーションによる増収策の検討
2. 発想の転換で市有施設の収支バランスを改善
3. 行政財産は誰のためのものか？～市有財産の有効活用を考える～

<基本コンセプト>

「職員の意識改革に向けて、既存の枠組みや考え方に囚われない、市民主体で柔軟な発想による自主財源の増強のための視点の提案」

1. 「掛川ブランド」の創出と地域プロモーションの展開

市内の観光資源、農産物、報徳文化等を活かし、地域ブランド＝掛川市と言えばコレ！という、わがまち掛川を売り込むための『武器』をつくる。

- ・市役所内に「掛川ブランド」の地域プロモーションを行う横断的な組織づくりが必要ではないか？
- ・情報戦略により、市内外に幅広くPRする。おもしろいネーミング、メディアのフル活用。
- ・「富士宮やきそば」などの事例に学び、地元産業、地元業者の活性化を図る。
- ・例えば、特産品の「お茶」の第6次産業化。地域ビジネスチャンスの創出。
- ・他地域ブランドとのコラボ企画の立案。市場、ブランド価値の拡大と相乗効果を狙う。

2. 発想の転換で市有施設の収支バランスを改善

一部の施設利用者の声だけを重視した使用料設定ではなく、建設時に費用負担をしている市民全体の声や視点を踏まえて、施設の維持管理に係る収支バランスの改善策を提案する。

- ・合併時の調整により、旧市町ごとに複数存在している施設の統廃合を検討する。
- ・指定管理施設を中心に、利用者の利便性向上を追求した施設運営・自主事業のあり方を検討する。
(例：民営化、統廃合、使用料見直し、利便性向上の仕掛けなど)
- ・行政財産の目的外使用も視野に入れた増収策
(例：さんりーなでの野菜販売、福祉施設での生活用品販売など)
- ・施設本来の利用目的＋他分野と連携できる目的をつくる。
(例：竹の丸＝文化財としての価値＋市民文化の発展機能＋観光交流機能)

3. 行政財産は誰のためのものか？～市有財産の有効活用を考える～

行政財産は、公用又は公共用に供し、又は供することと決めた財産であり、「公（おおやけ）」の意味は、「官（行政）」だけでなく、「民（市民・事業者）」の両者によって成り立つものである。よって、市民・事業者が利用したらどうなるかといった視点で幅広く柔軟性のある行政財産の利活用方法を考える。

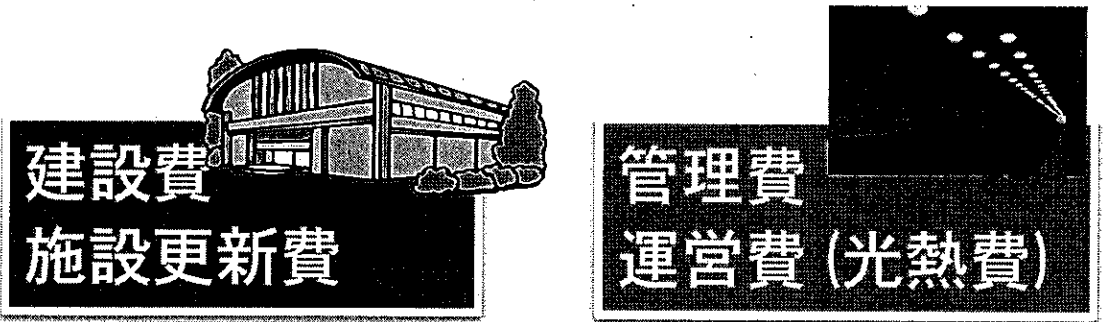
- ・公有財産のうち、活用できるものと活用できないものは何か？
- ・資産運用に対する市の考え方は整理できているか？

II 今後の進め方について

- ・7月24日(火)分科会・・・検討テーマ1～3に対する手法、メニューの協議
産業振興、財産管理部門との意見交換
- ・8月30日(木)分科会・・・各テーマごとに具体的な提案を検討する
※市への検討資料の要請、市担当課へのヒアリングは必要に応じて随時行う。

テーマ2 発想の転換で市有施設の収支バランスを改善

①「利用者市民」と「負担者市民」という考え方



負担者市民の考え

- ①有料化
- ②必要最低限
- ③施設の統廃合
- ④経済性
- ⑤効率
- ⑥コスト

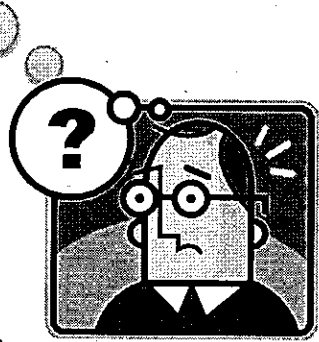
利用者市民の考え

- ①無料化
- ②高機能
- ③満足度
- ④効能最大

最適、妥当な料金設って
どのくらい??
料金設定を考えるときの基準は?

ほしい機能、
設備は?

民営化、廃
止はどう?



テーマ1. 「掛川ブランド」の創出と地域プロモーションによる増収策の検討

発想の視点 ①掛川市の目玉、売りになるものは何だと思えますか(いくつでも)?
②それを、どうすれば地域プロモーション(PR、購買促進)できると思えますか?
③メディアの活用方法はどんなものが考えられますか?
キーワード お茶、農業、報徳、生涯学習、スローライフ、祭り、健康、環境、郷土愛、交流、遠州横須賀・・・

テーマ2. 発想の転換で市有施設の収支バランスを改善

発想の視点 ①利用者市民と負担者市民の両者の考えから、どのような料金設定が妥当だと思いますか?(→図1)
②既存の施設に対し、利用者増加のために追加したい機能・設備はありますか?
③黒字施設の民営化や赤字施設の統廃合など、既存施設のあり方について具体的な提案をしてください。
キーワード 民営化、施設の魅力、手ごろな値段(使用料)、アクセスと駐車場の良さ、損益分岐点

テーマ3. 行政財産は誰のためのものか?～市有財産の有効活用を考える～

発想の視点 ①市有財産の利活用に向けた新しいアイデアを考えてください。
②使用目的に縛られすぎず、市民目線で捉えたもっと柔軟な利用法はありませんか?
キーワード 新しいアイデア、行政財産の目的外使用、広告掲載、ネーミングライツ、市民協働、財源確保

提案1

掛川市中心市街地の駐車場を無料化（2時間程度）すべき時が来ていると考えます。

1 状況

グローバル化の中であって、国家間競争・都市間競争（橋下大阪市長）・地域間競争の時代
（磐田ららぽーと・遠鉄による菊川駅前複合型商業施設の建設予定等）

掛川市のような中小都市では、車社会の中であってドーナツ現象が起きている事をご存じ通りです。
（既存の商業施設のほか、新たに細谷地区にホーム・プラザ等が 西山口地区にパローが開店）
現状、駐車料金（関所）を支払ってまで、市外から中心市街地に行く必要性が見つけられない。

2 他市の状況

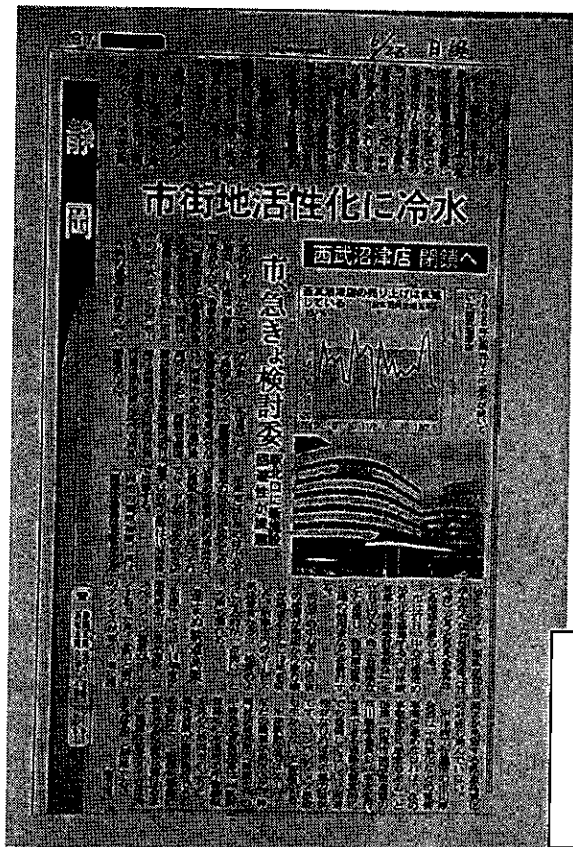
沼津市では、西武沼津店が撤退が報道された。沼津駅南の中心市街地の状況については、色々言われてきた所ですが、下記のような駐車場の状況では市民感覚としてはやむを得ないと考えられる。
一方

藤枝市駅前には、静岡市のベッドタウンとして、何棟ものマンションが林立しているにもかかわらず駅前アピタ店は2時間の駐車場無料化を実施している。

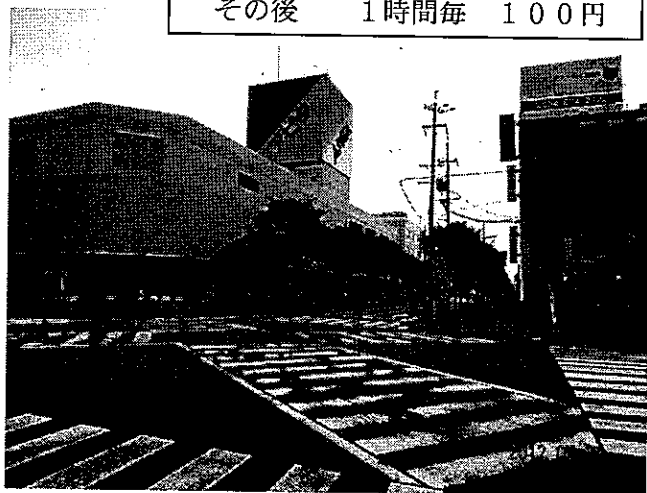
この差は歴然としていて、結果に出ていると言わざるを得ない。

3 掛川市中心市街地の駐車場は、概ね30分100円ですが、駐車場無料化は中心市街地活性化の最低必要条件と言わざるを得ないのではないのでしょうか。

なお ニーズに合った戦略的な駐車料金設定も考えて良いと思う。（別紙参照）



藤枝アピタ駅前店
駐車料金 2時間 無料
その後 1時間毎 100円



西武沼津店撤退の記事
駐車料金 1時間 300円
3000円の買い物で1時間無料
5000円の " 2時間無料

ニーズに合った戦略的駐車場料金設定（検討的素案）

大手門駐車場 観光客専用駐車場

3時間以内無料（3時間以上は1時間毎 100円）
ただし 1時間30分以内は 200円（除くバス）

駅南駐車場 会社員専用駐車場（ニーズが多いため高層化を検討）

月極駐車場 1ヶ月 5000円程度（近傍 1万円）

駅北駐車場 旅行者専用駐車場

1泊（18時間以上24時間未満）	600円
2泊（24時間以上48時間未満）	1000円
3泊以上10泊 まで	2000円
10泊以上18時間未満は1時間毎	100円

駅まんまえ駐車場 商店街専用駐車場

2時間以内無料（ただし30分以内は100円）
2時間以上 1時間毎 100円

間違い防止のため 15分以内は全て無料

提案2

図書館の民間委託と武器庫の民間力活用

1 掛川城周辺の状況

掛川城周辺については、市外の人にとっては、観光の場であり、掛川市民にとっては憩いの場であり、学びの場であると考えますが、よりサービスの行き届いた場でもあってほしいと思う

大日本報徳社周辺の整備も着々と進み素晴らしい事と思います。

2 より充実し、掛川中心市街地の活性化のためにも

① 図書館について（実行可能性について要検討）

開館時間 水、木曜日は午前9時～午後7時

火、金、土、日曜日は午前9時～午後5時

休館日 毎週月曜日

となっております

武雄市では、ツタヤにアウトソーシングすることにより

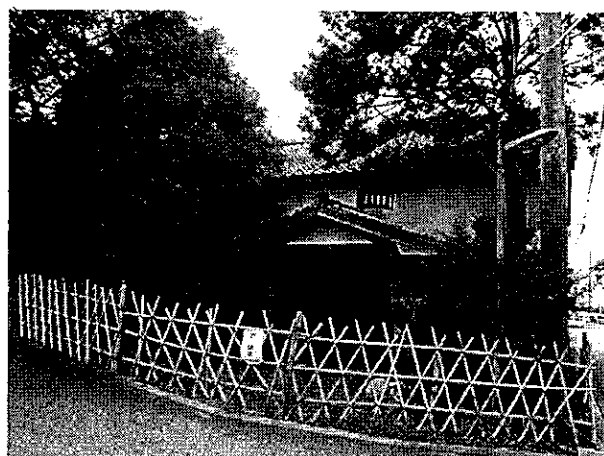
年中無休、閉館時間は午後9時になると聞いています。

② 武器庫について（実行可能性について要検討）

武器庫は以前、文化財の様な感覚で聞いていましたが、今や崩壊寸前の様な状況となっております。（写真右）

民間力の活用（修復活用を条件）として、売却するなり、貸し付けるなり検討を加えスター・ボックス的な軽食喫茶として、当該地区の活性化策として検討できないでしょうか。

3 掛川城周辺が、より中心市街地周辺からの集客に寄与できる体制を作為していくことこそ中心市街地活性化の基礎となると考えます。



提案 3

情報の優越

1 状況

掛川市は、ホーム・ページ、eじゃん・掛川、広報かけがわ等充実していると思います。
ただ、イベントや公開講座などは、上記広報媒体により、広報されていると思いますが、大半の市民は、関心をもたないまま日々の生活の中で流しているのが現状だと考えます。

2 掛川市のホームページをフェス・ブックに一元化する。(要検討)

武雄市の例として

ホームページにかかる費用が 600万円以上から 200万円に縮減できた。

通販サイトも立ち上げる事により 市独自商品 50品目で年間800万円を売り上げている。

3 同報無線の活用

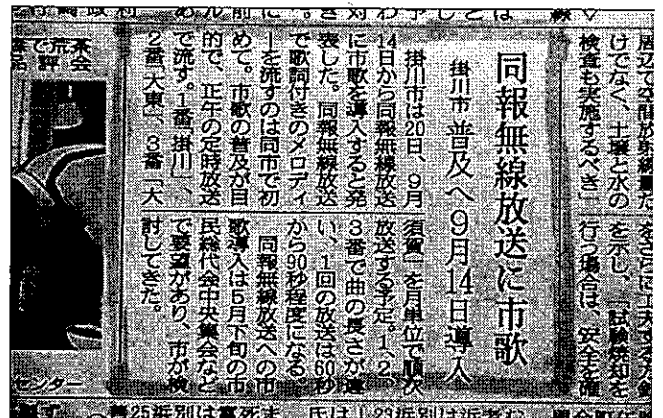
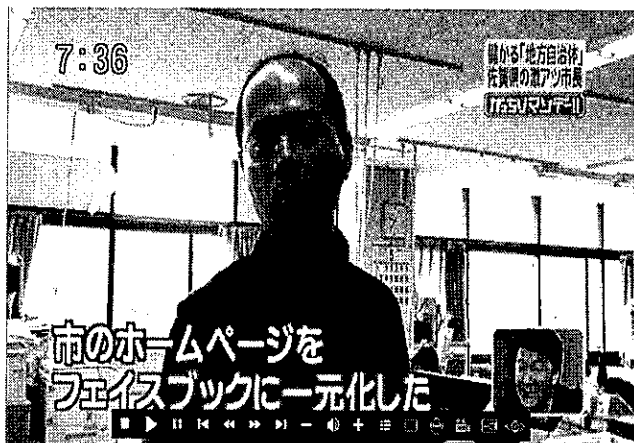
すでに、掛川市歌を同報無線で流すことは報道(21日)されましたが(下記)

掛川市中心市街地等で実施するイベント等を「当日の朝」放送する事により参加者の増加を図る事が活性化の第1歩だと考えます。

公開講座等の募集についても、募集開始日に再度意識付けする事が親切な広報と考えます。

4 ロゴ、ゆるキャラの募集・創作

ゆるキャラについては、すでに検討されていると聞きましたが、市民全体で考えるべきものと思いますので、全市民のイベントとして検討されるべきと考えます。



提案4 (検討中)

掛川ブランドについて

今、掛川で売り出せるものは何か(全国に通用しているもの)
売り出せるものから売り出す。
何を・誰に・どのようにを明確に

1 報徳スピリッツ(掛川精神)
生涯学習都市

2 掛川ブランド(全国に通用するもの)

お茶	→→→	健康食品・茶道・スイーツ
つま恋・ピアノ	→→→	楽器
ちっちゃな文化展	→→→	芸術作品

例 “お茶と音楽と芸術の街 掛川”

3 情報の優越(発信力一下支え)

ロゴ・イメージキャラクター	→→→	掛川市をアピール
ITの活用(フェスブック等)	→→→	全国へ世界へ発信
同報無線の活用	→→→	掛川市民へ

掛川市を売り出す為には

中心市街地の活性化が、1丁目1番地
駐車場無料化(2時間程度)が必須(お客様 受け入れ態勢)

掛川中心市街地は、世界中から人々が集う掛川市民の“誇り”となってほしい。
また、その素地はあると思う。

すこし変わった視点での提案をさせていただきたいと思います。

- 人口減に入る30年後以降、このような構想を現実的に強いられる自治体は急増すると思います。国全体も同様かもしれません。本格化する前に、誠実に取り組んでいくことも人間を生きる上で大切なことだと、私は考えます。
- 戦後40年間の右肩上がり経済成長と社会の成熟化の反動として生じた「豊かさ(=借金をしてまで作り出した生活レベルの向上)のツケ」の返済に取り組むかどうか。①取り組むふりをして債務を続けて先送りにするのか、②債務を債務として受け止めて少しでも経済に対して誠実になって生きていくのか。人口規模の縮小する将来を生きる若い世代は、誠実な目で現世代の取り組み姿勢を見ていると思います。
- その意味で、今回の行財政改革においても、市債返済に臨む態度を若い世代にどのように見せるかは現世代の品位に基づく大問題だと思っています。

みんな智恵を尽くしてよくやっているけれども、成熟先進国のマクロ的な経済停滞とこの先の不透明感を考えると、どのようなやり方も不確かで確定的ではない。

確定的ではない中で、せめて確実にやれることは、「債務の返済」ではないか。分科会Bの範囲内で、私なりの意見が提案できるとしたら、柔軟な発想で将来の経済負担を軽くし、身軽に動けるような体質に変換すること。このことが発想のベースにあります。

テーマ1

債務返済は至上命題であることを、市民生活の中でキーワードとして根付かせていく作戦はいかがでしょうか？そのためのキャッチフレーズを考えてみることにしました。

こうした方法も「掛川ブランド」の創出の一つになるのではないのでしょうか。たとえば…

「債務を誠実に(or 確実に)返済し続けるまち・かけがわ」

「将来の債務軽減に希望のみえるまち・かけがわ」

「将来の市債も1/3、行政の仕事も1/3に。子どもたちの将来に希望を産み出すまち・かけがわ」

テーマ2

長い先の将来を考えると、たとえば市立体育館でも、つま恋や民間スポーツ施設と同金額の負担を要求されても、やむを得ないという時代は必ずやってくると思います。

現在はこの過渡期だと感じますが、「長い先の将来」をどれだけ真剣に考えるかによって、設定する金額は変わってくると思います。

それゆえ、極端な場合、現時点で「長い先の将来」を考えて、民間スポーツ施設と同金額に設定してもよいのではないかと考えます。

テーマ3

- 「市役所利用者手数料1日100円徴収」計画をテーマ1キャッチフレーズとともに実行してはどうでしょうか。「将来の市債も1/3、行政の仕事も1/3に。子供たちの将来に希望を産み出すまち・かけがわ」
- もう一つは、市役所の業務内容となっているものをすべて文字化し把握した上で、30年先の人口減少社会でも、なおかつ市役所で取り組まなくてはならないサービスはなにか、そうではなく行政サービスから切り離していく仕事内容は何か。行政の守備範囲も1/3にする意気込みで項目を見直してみようとするのも、大事な取り組みだと思います。

以上、簡潔ではありますが、これまで発言したことを絡めて要点を記しました。

だいぶ、テーマ設定を度外視した意見となっておりますが、よろしくお取り計らいください。

平成24年7月23日

馨 敏郎

分科会B「自主財源増強」検討部会 検討テーマ意見集約シート (氏名 山内 秀彦)
 市民目線で、発想の転換により、可能性を秘めたみなさんのアイデアを書いてください。

テーマ1. 「掛川ブランド」の創出と地域プロモーションによる増収策の検討
 発想の視点 ①掛川市の目玉、売りになるものは何だと思えますか(いくつでも)?
 ②それを、どうすれば地域プロモーション(PR、購買促進)できると思えますか?
 ③メディアの活用法はどんなものが考えられますか?
 キーワード お茶、農業、報徳、生涯学習、スローライフ、祭り、健康、環境、郷土愛、交流、遠州横須賀・・・

■美と健康の生涯学習都市「掛川茶」のブランド全国発信

①庁内に掛川シティプロモーション課(室)の開設

②お茶関連商品のリストアップ(掛川商工会議所等による「掛川茶ブランド」の認定制度)

③お茶関連商品(飲食・物販・サービス)による市民協働プロモーション戦略
 (例:富士宮やきそば、浜松餃子のように市民によるお茶マップ作成)

④掛川ブランド品のネット通販サイト(収益を還元する)

テーマ2. 発想の転換で市有施設の収支バランスを改善
 発想の視点 ①利用者市民と負担者市民の両者の考えから、どのような料金設定が妥当だと思いますか?(→図1)
 ②既存の施設に対し、利用者増加のために追加したい機能・設備はありますか?
 ③黒字施設の民営化や赤字施設の統廃合など、既存施設のあり方について具体的な提案をしてください。
 キーワード 民営化、施設の魅力、手ごろな値段(使用料)、アクセスと駐車場の良さ、損益分岐点

■公共施設の使用料基準の見直し(社会スポーツ施設等)

・他市町の使用料金を比較し、条例改正

・販売施設(道の駅等)や観光施設等の使用料収入・賃料アップ

テーマ3. 行政財産は誰のためのものか?～市有財産の有効活用を考える～
 発想の視点 ①市有財産の利活用に向けた新しいアイデアを考えてください。
 ②使用目的に縛られすぎず、市民目線で捉えたもっと柔軟な利用法はありませんか?
 キーワード 新しいアイデア、行政財産の目的外使用、広告掲載、ネーミングライツ、市民協働、財源確保

■指定管理者制度による市施設内での利用者サービスを兼ねた販売行為の弾力的運用

(Win・Win・Win 市:目的外使用料による収入増、指定管理者:自主事業収入増、利用者:利便性の向上)

例:農産物の販売、”お茶”関連商品の販売(ブランド戦略対応)、福祉施設での日用品等の販売

■公用車や市役所等の公共施設の玄関マット、ELVマット等への企業広告

■「障がい者」を雇用した学校内の緑花木や清掃等の管理作業委託(就業機会、障がい者とのふれあい機会にも活用)

■学校給食センターを統廃合し民間委託

分科会B「自主財源増強」検討部会 検討テーマ意見集約シート (氏名 伊藤 鏡一)
市民目線で、発想の転換により、可能性を秘めたみなさんのアイデアを書いてください。

発想の視点 ①掛川市の目玉、売りになるものは何だと思えますか(いくつでも)?
②それを、どうすれば地域プロモーション(PR、購買促進)できると思えますか?
③メディアの活用法はどんなものが考えられますか?
キーワード お茶、農業、報徳、生涯学習、スローライフ、祭り、健康、環境、郷土愛、交流、遠州横須賀

- ① 体験の里(お茶摘み、いちご、マロン、カウフルー、おいか、とろろこし、茶、釣、地引網) 組合
- ② ふれあいの里(各種産物... 祭、ちびっ子文化展) カラダ、フリス、温泉、海岸
- ③ 歴史のまち(掛川城、城下町、城下神場、お寺、神社多数、執徳、各種資料館)
- ④ 農産物の充実、強北... 駐車場、食事処、TV、ホテル、旅館、道の駅、小田
- ⑤ 何といっても、来て良かった、有意義であった、面白かった、又来たいと思ってくれるのが、PR
- ⑥ 口コミに勝るPRはないが、先ずはメディアの活用
- ⑦ マスコミの積極的取上げ努力(新聞、テレビ、ラジオ)、観光協会への発信
- ⑧ インターネット... ネット力のある広告企業活用、ホームページの充実
- ⑨ 市内に向けては、広報などを通してPR(気合を込めて...), 口コミでのPRを訴える

発想の視点 ①利用者市民と負担者市民の両者の考えから、どのような料金設定が妥当だと思いますか? (→図1)
②既存の施設に対し、利用者増加のために追加したい機能・設備はありますか?
③赤字施設の民営化や赤字施設の統廃合など、既存施設のあり方について具体的な提案をしてください。
キーワード 民営化、施設の魅力、手ごろな値段(使用料)、アクセスと駐車場の良さ、損益分岐点

- ① 福祉とのバランスが難しい! 利用者によって料金を区分する事は有効(成人学、子供学)
- ② 利用者や利用度合の分析は必要。その上で料金設定の妥当性を検討する
- ③ 祭りにふれあえる場
- ④ 市令者が増加する中、健康面での有効なまの(いど、ソ外両面)を増やしたい
- ⑤ 家族単位、又は仲の良い家族同士などの行動が増加している。これをターゲットにしたもの
- ⑥ 交通の利便性向上... 持込車と持込車市令者
- ⑦ 黒字施設は市が継続保有で可、赤字施設はその要因分析と改善策を
- ⑧ 検討、かつ福祉等との関連も勘案し、必要に応じて統廃合、民営化検討

発想の視点 ①市有財産の利活用に向けた新しいアイデアを考えてください。
②使用目的に縛られすぎず、市民目線で捉えたもっと柔軟な利用法はありませんか?
キーワード 新しいアイデア、行政財産の目的外使用、広告掲載、ネーミングライツ、市民協働、財源確保

- ① 先ず市有財産の内容を把握の上、利活用の状況をチェックし、市民目線下、どのような取り扱いか妥当か判断したい。法律条例等との絡みもあせ思
- ② 取り扱いは、その範囲内では、目的外使用、広告掲載、此大胆に活用すべき。場合によっては規定を改定(用途地域変更など)事も考えていきたい
- ③ 市民協働は重要な施策。又、国、県、市の保有区分より利活用に支障あるものなども調整、工夫、協力し有効活用につなげていくべき
- ④ 保有財産の凍結状態にあるもの、これらの大胆な発想に基づく知見が必要